

外来化学療法 投与計画書

腫瘍内科 セツキシマブ(初回)+mFOLFOX6(トレフューザーポンプ)療法

29-037

ID	:	身長	:	cm	day1:アービタックス(起炎症性) 400mg/m ²
フリガナ	:	体重	:	kg	day8:アービタックス(起炎症性) 250mg/m ²
患者氏名	:	体表面积	:	m ²	レボホリナート 200mg/m ²
	:	クレアチニン	:	mg/dL	オキサリプラチン(炎症性) 85mg/m ²
生年月日	: S・H・R	年	月	日	生まれ
治療計画	外来初回治療日	年	月	日	より
		コース目	day	開始	評価コース数
外来担当医:	PHS	記載医師	:	PHS	薬剤師 2次監査
Rp		投与スケジュール: 1コース14日間	day 1	day 8	
1本目	主管 皮下ポート点滴注射 アロキシ(0.75) 0.75mg ポラミン(5) 5mg デカドロン(6.6) 6.6mg 生食 100mL 投与時間 30分		● 13-ス目のみ	×	
2本目	主管 皮下ポート点滴注射 アービタックス _____ mg 生食 250mL 投与時間 2時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		● 13-ス目のみ	×	
3本目	主管 皮下ポート点滴注射 生食 100mL 投与時間 1時間		● 13-ス目のみ	×	
4本目	主管 皮下ポート点滴注射 オキサリプラチン _____ mg 5%ブドウ糖液 250mL 投与時間 2時間 (____年__月__日__%doseへ減量)	側管 皮下ポート点滴注射 レボホリナート _____ mg 5%ブドウ糖液 250mL 投与時間 2時間 (____年__月__日__%doseへ減量)	● 13-ス目のみ	×	
5本目	主管 皮下ポート点滴注射 フルオロウラシル _____ mg 5%ブドウ糖液 100mL 全開 投与時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		● 13-ス目のみ	×	
6本目	主管 皮下ポート点滴注射 フルオロウラシル _____ mg 生食全量 140mL 投与時間 46時間 (____年__月__日__%doseへ減量)	<患者退室時の確認事項> <input type="checkbox"/> 固定、クランプ開放の確認 <input type="checkbox"/> 抜針セットを渡す <input type="checkbox"/> 5Fuの終了時間を記入	● 13-ス目のみ	×	

1本目	主管 皮下ポート点滴注射 ポラミン(5) 5mg デカドロン(6.6) 6.6mg 生食 100mL 投与時間 30分		×	●
2本目	主管 皮下ポート点滴注射 アービタックス _____ mg 生食 250mL 投与時間 1時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		×	●
3本目	主管 皮下ポート点滴注射 生食 100mL 投与時間 1時間		×	●

1. その他連絡事項
1コース目のみで終了

2020年10月トレフューザーポンプ、皮下ポートに変更
2017年3月 エルプラット→オキサリプラチンへ変更
5Fu→フルオロウラシルへ変更
2016年11月 レイアウト変更
2016年6月 名称変更
2014年12月 セトーン→アロキシ
2013年2月 レジメン番号変更
2011年4月26日作成